

書評

野村総一郎, 中村 純, 青木省三, 朝田 隆, 水野雅文 シリーズ編集

中村 純 編

《精神科臨床エキスパート》

他科からの依頼患者の診方と対応

保坂 隆

本書は医学書院の『精神科臨床エキスパートシリーズ』の最新刊である。精神疾患は2011年にいわゆる「5大疾患」のひとつに捉えられ、社会の中での精神医学の重要性が改めて指摘され、高い医療水準が求められている中で、「教科書やガイドラインなどから得られる知識だけではカバーできない、本当に知りたい臨床上のノウハウや情報を得るにはなかなか容易ではない」(精神科臨床エキスパートシリーズ「刊行にあたって」より)。

そのような背景からこのエキスパートシリーズは生まれた。「読者の方々にも一緒に考えながら、読み進んでいただきたい」と「刊行にあたって」に書かれている。そのため、本書も随所にこのような工夫が施されているように感じた。

まず本書は、「第1部：依頼患者の診方と対応」として、たとえば、意識障害・せん妄、抑うつ・不安のように他科からの依頼内容に多くみられる精神症状から構成されている。そして「第2部：精神症状・心理的問題が生じやすい身体疾患とその病態」として、心疾患、妊娠・出産のような身体疾患・身体状況が並べられている。最後に「第3部：精神症状・心理的問題が生じやすい身体疾患治療薬」が追加されている。

さて、ここからは本書の書評をする。まず、「第1部：依頼患者の診方と対応」は非常に現実的・実際的である。仮の症例がCase 1, Case 2のように提示してあり、読者はそれを臨床の現場さながらに診断や治療方針を考えていくものである。しかし、事例があって解説が追記されていく章と、解説があり最後に練習問題としての事例が登場するという形式が混在している点は残念だ。どちらも臨床実践に

は役に立つが、事例があって読者に考えさせて最後に解説がつくというスタイルに、統一されても良かったと思う。

また「第2部：精神症状・心理的問題が生じやすい身体疾患とその病態」は、がん、心疾患のような身体疾患・身体状況が並べられているが、これは他の類書と同じ項目立てであり斬新とは言えない。また、それぞれの担当ページが少ないためか、解説は十分とは言えない点も心残りだ。

最後に「第3部：精神症状・心理的問題が生じやすい身体疾患治療薬」が追加されているが、これは第2部の中に含めても良い内容だ。

全体的に言うと、コンサルテーション・リエゾン精神科医が遭遇する、すべての依頼内容と対処の仕方、本書全体を通してという選択もあったのではないかとされた。そのほうが、「読者の方々にも一緒に考えながら、読み進んでいただきたい」という「刊行にあたって」の言葉にマッチしているのではないか。

いずれにしても、コンサルテーション・リエゾン精神医学への編者の熱い想いが伝わってくる良書である。コンサルテーション・リエゾン精神医学の学術団体である日本総合病院精神医学会は、新機構による専門医制度のサブスペシャリティを目指しているが、本書が、専門医になるために読むべき書籍の一つに入ることは間違いない。

(聖路加国際病院リエゾンセンター長)

●B5 264頁 2015 定価：本体5,800円＋税
医学書院